

### 3. 災害時の連絡・情報伝達の方法

#### 1) 災害伝言ダイヤル

災害伝言ダイヤルは、日本国内で大規模な災害が発生し、通信が増加し、つながり難くなった場合、電話を用いて音声による伝言板の役割を果たすシステムです。

##### (1) 災害伝言ダイヤルを体験してみましょう。

利用体験し、災害発生時すぐに利用できるよう備えましょう。

＜体験利用日＞

- ・毎月1および15日 0：00～24：00
- ・防災週間（8月30日 9：00～9月5日 17：00）

##### (2) 伝言（情報）を聞く方法

- ① 電話番号「171」を押します。
- ② 案内が流れます。
- ③ 「2」（再生）を押します。
- ④ 案内が流れます。
- ⑤ ふくどめクリニック電話番号「0985417700」を押します。
- ⑥ 少しして、ふくどめクリニックからの伝言が流れます。

＜内容＞

- ・ふくどめクリニックの被災状況
- ・当院で透析が出来るかどうか
- ・透析受け入れ病院の情報
- ・移動手段

といった情報が聞けます。

##### (3) 伝言（情報）を録音する方法

- ① 電話番号「171」を押します。
- ② 案内が流れます。
- ③ 「1」（録音）を押します。
- ④ 案内が流れます。

⑤ ご自宅の電話番号をダイヤルして下さい。

⑥ 30秒以内に伝言を入れて下さい。

#### <内容>

- ・ご本人およびご家族の安否、体調
- ・避難した場合の避難先の所在地、連絡先
- ・透析を行うにあたり、交通手段の相談等の情報を録音して下さい。

## 2) 宮崎県透析メール

### 登録方法

- ① 次の登録用メールアドレスに空メール（件名・本文を入力せずに）メールを送る。

[touseki.miyazaki-pref@raidan2.ktaiwork.jp](mailto:touseki.miyazaki-pref@raidan2.ktaiwork.jp)

※または、右記のQRコードからでもOK

- ② メールが自動返信されて来ます。
- ③ 返信されたメールに記載されたアドレス（URL）へインターネット接続します。
- ④ 氏名と情報を取得したい地域を選択（複数でも可）



内容を確認後、登録を行って下さい。

- ⑤ 登録完了メールが届けば完了です。

※災害用ですので、通常でのメール配信はありません。

#### <メール内容例1>

地震により〇〇クリニックが透析できなくなっています。患者さんの受け入れ先調整中です。〇〇クリニックの患者さんはクリニックと連絡をして下さい。

#### <メール内容例2>

□□病院の患者さんは△△公園に集合して下さい。

#### <メール内容例3>

宮崎市南部の透析施設には、被災がありませんでした。

各施設の患者さんは安否確認のため施設との連絡をとって下さい。

### 3) 人工透析患者連絡カード

人工透析患者連絡カードとは、必要な場所に必要な情報を届ける目的として作成され、患者さんへお渡ししています。

#### <カードの情報>

- ・患者さんの透析に最低限必要な情報
- ・患者さん、クリニックの連絡先
- ・伝言ダイヤルの利用手順
- ・宮崎市内の近隣施設情報（住所、電話番号）

※被災のみならず、患者さんにトラブル等が発生したときに大変役に立つカードとなっています。常に携帯し、必要に応じてカードを提示してください。